



2020年10月4日発行 2020年10月号 (通算241号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2020～2021主題】

国際会長 Jacob Kristnsen 「Values, Extension and Leadership」
 アジア太平洋地域会長 David Lua 「Make a Difference」
 東日本区理事 板村 哲也 「変化をたのしもう！」
 あずさ部長 御園生 好子 「変わるに挑戦」
 東京武蔵野多摩会長 渡辺 大輔 「新しい生活様式の中で何ができるのか。」

【クラブ役員】

会長 渡辺 大輔
 副会長 小林 文彦
 書記 山口 直樹
 会計 宮内 友弥

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club (韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2020年
10月の聖句

見よ、全地に生える、種を持つ草と種を持つ実をつける木を、すべてあなたたちに与えよう。それがあなたたちの食べ物となる
創世記 第1章29節

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにY M C Aに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

10月例会の予定

強調月間：EMC/E

YES

日時：10月14日(水) 19時～20時30分

会場：ZOOM

〈プログラム〉合同例会 司会：山口

【with 神戸学園都市クラブ、岡山クラブ】

- * 開会挨拶、点鐘
- * ワイズソング
- * ゲスト、ビジター、メンバー紹介
- * 卓話「コロナ禍におけるYMCAの現状」
各YMCA担当主事からの現状紹介
- * 連絡、報告、にこにこ
- * 閉会挨拶、点鐘：渡辺会長

* 10月のハッピー・バースデー

江夏さん(16日)、伊佐さん(21日)、野尻さん(27日)

在籍者	11名
出席者	10名
メーキャップ	0名
出席率	91%
ゲスト(リーダー)	0名
ビジター	4名
メネット・コメント	0名
にこにこ	0円

9月例会報告

中村吉孝

東京武蔵野多摩クラブの9月例会では、元クラブメンバーの山田公平さんに卓話をお願いし、「YMCAとワイズの協力がもたらすもの」をテーマとしてお話を伺いました。

- YMCAは様々なプログラムを行っているが、参加する会員から見た場合、それぞれのプログラムは、他の団体の同種プログラムと一見同じものに見えているかもしれない
- しかし、YMCAを他団体と分ける大きなポイントがある
- それは、「YMCAが10%のエネルギーを地域、国際のために費やすこと(=会員活動)」である

- 10%の働きを会員運動に費やすことがYをYとする原動力になる
- この10%に接することで、プログラムの参加者はYMCAが単なる事業体ではなく、運動体であることに気づいてくれる

- YMCAはコロナ禍の今の社会に対して何をすべきか
- YMCAとワイズは、コロナ後のニーズを見ようとしているか

• 何から始めるか

- ✓ 専門家の話を聞く
- ✓ 関係団体や地域の学校、塾、保育園などが関心をもっているテーマを選択
- ✓ 一般にも開いた講演会としYのスタッフやリーダーも巻き込む
- ✓ 宇都宮クラブの事例紹介(コロナで子供の貧困格差の広がり)一緒に何が出来るか→キッチンカーの子供食堂の開催

まとめ

- YMCAとワイズが地域に奉仕する
- YMCAは10%の働きのスピリットを生み出していく